

Ⅰ. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成20年(2008年)1月1日)

	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
養老一桑名一四日市		
30年	0～0.6%	0～0.7%

※活断層評価備考

・ここに掲載しているものは、再計算の結果、発生確率値の表記に変更もしくは修正のあったもの。

	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
伊勢湾(主部/南部)		
50年	0～0.003%	0～0.004%

Ⅱ. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成20年(2008年)1月1日)

相模トラフ	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
大正型		
平均発生間隔	200～400年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.21～0.42	0.21～0.42
10年	ほぼ0%～0.07%	ほぼ0%～0.08%
20年	ほぼ0%～0.3%	ほぼ0%～0.4%
30年	ほぼ0%～1%	ほぼ0%～1%
40年	ほぼ0%～3%	ほぼ0%～3%
50年	ほぼ0%～6%	ほぼ0%～6%
元禄型		
平均発生間隔	2300年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.13	0.13
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%

南海トラフ	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
南海地震		
平均発生間隔	次の地震90.1年(平均:114.0年)	
ばらつき α	0.20～0.24	
経過率	0.67	0.68
10年	10%程度	10%程度
20年	30%程度	30%程度
30年	50%程度	50%程度
40年	70%程度	70%程度
50年	80%～90%	80%～90%
東南海地震		
平均発生間隔	次の地震86.4年(平均111.6年)	
ばらつき α	0.18～0.24	
経過率	0.72	0.73
10年	10%～20%	20%程度
20年	40%程度	40%程度
30年	60%～70%	60%～70%
40年	80%程度	80%～90%
50年	90%程度	90%程度

三陸沖から房総沖	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
三陸沖北部		
平均発生間隔	97.0年	
ばらつき α	0.11～0.24	
経過率	0.40	0.41
10年	ほぼ0%～0.2%	ほぼ0%～0.3%
20年	ほぼ0%～2%	ほぼ0%～3%
30年	0.09%～9%	0.1%～10%
40年	3%～20%	4%～20%
50年	20%～40%	30%～40%
三陸沖南部海溝寄り		
平均発生間隔	104.5年(105年程度)	
ばらつき α	0.19～0.24	
経過率	1.05	1.06
10年	30%～40%	30%～40%
20年	60%～70%	60%～70%
30年	80%～90%	80%～90%
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度以上	90%～98%

千島海溝(1/2)	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
十勝沖		
平均発生間隔	72.2年	
ばらつき α	0.24～0.32	
経過率	0.05	0.06
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%～0.01%	ほぼ0%～0.03%
30年	0.06%～0.9%	0.1%～1%
40年	2%～7%	3%～8%
50年	10%～20%	10%～20%
根室沖		
平均発生間隔	72.2年	
ばらつき α	0.24～0.32	
経過率	0.46	0.48
10年	2%～6%	3%～7%
20年	10%～20%	10%～20%
30年	30%～40%	40%程度
40年	60%程度	60%程度
50年	70%～80%	70%～80%

宮城県沖	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
平均発生間隔	37.1年	
ばらつき α	0.177	
経過率	0.77	0.80
10年	60%程度	60%程度
20年	90%程度	90%程度以上
30年	99%	99%
40年		
50年		

※海溝型地震備考

・ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全て。

・黄色で示した箇所が、再計算の結果、表記に変更のあったもの。

・宮城県沖は、評価文中で『これらを踏まえ、地震発生の可能性は、年々高まっており、今後20年程度以内(2020年頃まで)に次の地震が起こる可能性が高いと考えた。』として、30年以内より長期の発生確率の評価を行っていない。

日本海東縁部	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
北海道北西沖		
平均発生間隔	3900年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	2100年(0.54)は概数なので更新せず	
10年	0.002%～0.04%	0.002%～0.04%
20年	0.004%～0.07%	0.004%～0.07%
30年	0.006%～0.1%	0.006%～0.1%
40年	0.008%～0.2%	0.008%～0.2%
50年	0.01%～0.2%	0.01%～0.2%
北海道西方沖		
平均発生間隔	1400～3900年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.02～0.05	0.02～0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
北海道南西沖		
平均発生間隔	500～1400年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.01～0.03	0.01～0.03
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
青森県西方沖		
平均発生間隔	500～1400年	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.02～0.05	0.02～0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
山形県沖		
平均発生間隔	1000年以上	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.17以下	0.17以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%
新潟県北部沖		
平均発生間隔	1000年以上	
ばらつき α	0.17～0.24	
経過率	0.04以下	0.04以下
10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%

千島海溝(2/2)	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
色丹島沖		
平均発生間隔	72.2年	
ばらつき α	0.24～0.32	
経過率	0.52	0.53
10年	4%～10%	5%～10%
20年	20%～30%	20%～30%
30年	40%～50%	50%程度
40年	60%～70%	70%程度
50年	80%程度	80%程度
択捉島沖		
平均発生間隔	72.2年	
ばらつき α	0.24～0.32	
経過率	0.60	0.61
10年	10%程度	10%～20%
20年	30%～40%	30%～40%
30年	50%～60%	60%程度
40年	70%～80%	70%～80%
50年	80%～90%	80%～90%

(参考)想定東海	2007年1月1日時点の評価	2008年1月1日時点の評価
平均発生間隔	118.8年(参考値)	
ばらつき α	0.20	
経過率	1.28	1.29
30年	87%(参考値)	87%(参考値)